

後藤 大輝 選手・與那覇 航和 選手の紹介

後藤 大輝 選手 (27歳) 背番号 50 GK

ホームタウン応援大使 ニックネーム
高山市 ゴツ、ゴツ

埼玉県出身、両親と3人家族で育った。2021年に結婚し現在は奥様と岐阜で生活し、綺麗で住みやすいと気に入っている。

浦和大谷場小学校時代に地元のサッカースポーツ少年団に加入しサッカーを始めた。小学生時代から海外遠征に参加し、さいたま市と姉妹都市提携をしているメキシコのトルカ市をサッカー交流訪問をしたのが初の海外交流であった。その後さいたま市立岸中学校に通い大宮アルティージャ・Jrユースに加入。私立武南高等学校時代は大宮アルティージャ・ユースに入団し、毎年埼玉県を代表して全国大会に出場し、ドイツ、オランダ、ベルギーの海外遠征に参加した。その後進んだ明治大学サッカー部では2度大学選手権で優勝を果たし、韓国の海外遠征に参加した。

プロ生活のスタートはギラヴァンツ北九州であり、年齢層が若く運動量の多いアグレッシブなチームに2年在籍、その後大宮アルティージャで1年、そしてギラヴァンツ北九州に再加入した。今度は若手と中堅のバランスの取れた北九州で再び2年間を経て、今年からJ3優勝、J2昇格を目指してFC岐阜に加入した。ご縁といえば上杉GKコーチと川上選手とは北九州時代にお世話になり、上田GKとは大宮時代の仲間である。友人は多い方でGK仲間なら10人くらいと、選手たちとは50人くらいと親しくしている社交家である。GKのコミュニケーション能力の必要性和外国人選手や監督とのコミュニケーションの重要性から英会話力アップの努力を続けている。

サッカー選手の特性は目標に向かって努力する努力家が多く、その特性は国内外サッカーのみならず、どの分野でも花開く時代になって来ている。誠実な人柄と目標に向かってひた向きに努力し、人を大切にする後藤選手の大輪を見たい人が大勢いると思っています。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

與那覇 航和 選手 (23歳) 背番号 30 MF

ホームタウン応援大使 ニックネーム
瑞浪市、恵那市 こーわ

沖縄県出身で両親と兄の4人家族で育った。那覇市立高良小学校時代から中村憲剛選手に憧れて、プロサッカー選手を目指しサッカーにのめり込んだ。小・中・高・大の学校時代には中体連の全国大会に沖縄県代表として出場し頭角を現した。中学2年時に全国から約20人が選ばれるサッカー・エリート・プログラムに選出されたのを機に、高校時代は埼玉県の浦和レッズユースに加入し、学校は大宮武蔵野高校に毎日自転車40分かけて通った。世の中は広くて狭いが当時の浦和レッズユースの監督は、昨年からFC岐阜を率いる上野監督であり3年間お世話になったのである。

大学は東北No.1の仙台大学サッカー部に進学した。全国から優秀な選手が集まっているだけあって自分を含めて同期5人がJリーガーになった。当時はお互いが日々競い合い磨き合っていた。特に水戸ホーリーホックに加入した得能選手は自分と同様に小柄だが、精神力も体幹も強く、大きな選手たちにも負けない見事なプレーを見てきたので、自分是对極のポジショニングを自分で考えて、相手をかわすプレーを実践してきた。仲間4人はJ2に進んだが、自分はJ3から積み上げて行くようにFC岐阜を選んで加入した。まずはJ2、J1へと昇格に貢献できる選手になって、長く活躍出来る選手になりたいと思っている。現在は開幕戦の2日前の練習中に左肋骨骨折等で全治3か月の負傷をしたためリハビリトレーニングをしている。故郷の沖縄出身ロックバンド“かりゆし58”の曲を聴きながらプロデビューに向けてしっかり治していきたい。そして自身が応援大使を務めるホームタウンの皆様にもご挨拶に伺い、応援してもらえるように頑張りたいと話しています。チャームिंगな笑顔で人々を引き寄せるこーわを暖かく見守り、応援よろしくをお願いいたします。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU